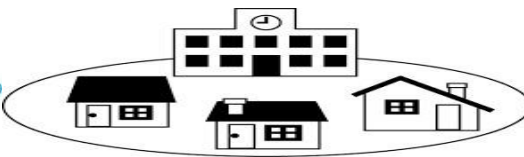


# とうせい コミスク便り

Web版は  
こちらから



令和6年9月26日  
9月号

## 第2回学校運営協議会が開かれました

9月19日（木）に第2回学校運営協議会を行いました。2学期の学校経営方針の説明，中間学校評価の結果分析，過日行われた学力学習状況調査や体力テストの結果などを基にした本校の児童の学力・体力の分析，生徒指導の現状などについて熟議を行いました。

### ☆学校評価（中間） 成果と課題

求める子どもの姿			子ども		教職員		保護者	
			達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価
<b>◎成果</b>	目標							
楽しい学校	100%	学校に楽しく通っている	91	A	100	A	94	A
いじめは許されない	100%	いじめは許されないことと考えている	99	A	100	A	99	A
仲よく生活	90%	周りの人と助け合いながら，仲よくしている	95	A	100	A	97	A
<b>●課題</b>								
学習習慣の定着	85%	学習習慣が定着している	87	B	78	C	76	C
読書への関心	75%	読書に親しんでいる	72	C	81	B	54	D

### 学校運営協議会委員からのご意見

- 朝，高学年児童が低学年児童を守るように寄り添いながら登校する様子をよく見かけるようになった。学校でのさまざまな取組の成果でしょうか。微笑ましい光景です。
- 読書について～三者評価の開きが大きい。親は子どもの読書する姿を見ていないのではないか。「本を読む」という空気を家庭内につくすることも大事。学校も取組の発信をしていくべき。設問も工夫の余地がある。

### 部会ごとの意見交流概要（推進部・支援部・評価部）

推進部～郵便・紙面で行っていた各種案内はマチコミでの連絡に切り替えていくこと，校内で要望があれば，コミスクだよりで東聖地域に学習ボランティアの募集をしていくことを確認した。

支援部～これまでの支援（交通安全教室見守り支援，教材園春起こし，ビニルハウス整備，田んぼの学校の田植え・稲刈り，全校朝会の講話）と今後の支援を確認した。

評価部～中間学校評価結果を受け，児童と保護者との評価の開きがあると，児童の自己肯定感が下がるおそれがあるため，評価方法を見直していくことを確認した。